

まちの話題



7月13日(土)

赤ちゃんや子どもの「もしも」の時に備えて… 一次救命処置の手順を学ぼう

高浜市赤十字奉仕団では、高浜中と南中のボランティアクラブの生徒を対象に、乳児と幼児の対処法を中心とした心肺蘇生法の講習会を行いました。講師を務めたのは、昨年「赤十字幼児安全法指導員」の資格を取得した岩月妙子さん(沢渡町)と神谷容子さん(稗田町)。「夏休みを前に、子どもにおこりやすい事故の予防や病気の手当てなどの知識・技術を、若い人たちに広めたい。」との思いから、乳児・幼児・成人の救命処置の違いを、実技を交えてわかりやすく指導していました。岩月さんと神谷さんは「先輩お母さん」として、保護者や保育に携わる方たちにも、もしもの場合の対処法を伝えていきたい。」と話していました。



7月18日(木)

いつもいっしょに帰ってくれてありがとう 安心おじさんおばさんに感謝

1年生が慣れない通学路で危ない目に合わないよう、交通安全のポイントなどを指導しながらいっしょに下校してくれる「安心おじさん」たち。この日は、いっしょに帰る最後の日ということで、1年生からお礼の言葉や手紙をプレゼントする感謝の会が、翼小学校で開かれました。「これからは、友だちといっしょに、自分たちだけで気をつけて帰ります。」という決意の言葉に、「道路には飛び出さない。左右をよく見て横断する。信号を守る。この3つを守ってください。」とおじさんたち。子どもたちもしっかりうなずき、約束しました。会を終えたあとは、たくましくなった1年生と最後の日を惜しみながら下校しました。

